

# モニタリング記録票 (R2秋・猿島)

調査日：令和2年11月17日（火）9：30～13：00

天候：晴れ

気温：17℃（10：00時点）

記録者：自然環境共生課

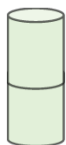
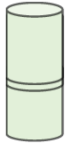
協力者：三浦半島自然保護の会、猿島公園専門ガイド協会

## ④ キジョラン

地図に  (青) で図示  
食痕がある地点は色を変え図示

コメント：  
花、実、種を複数発見した

マダケ      モウソウチク



竹細工に使う

肉厚

## ② マダケ（広がり方の確認）

地図に  (緑) で図示

前年と比較して変化が (ある・ない)  
変化の内容：  
範囲は変化なし  
竹の密度が増した

## ① ウミウ

生息確認数： 49 羽 (R1秋：47羽)

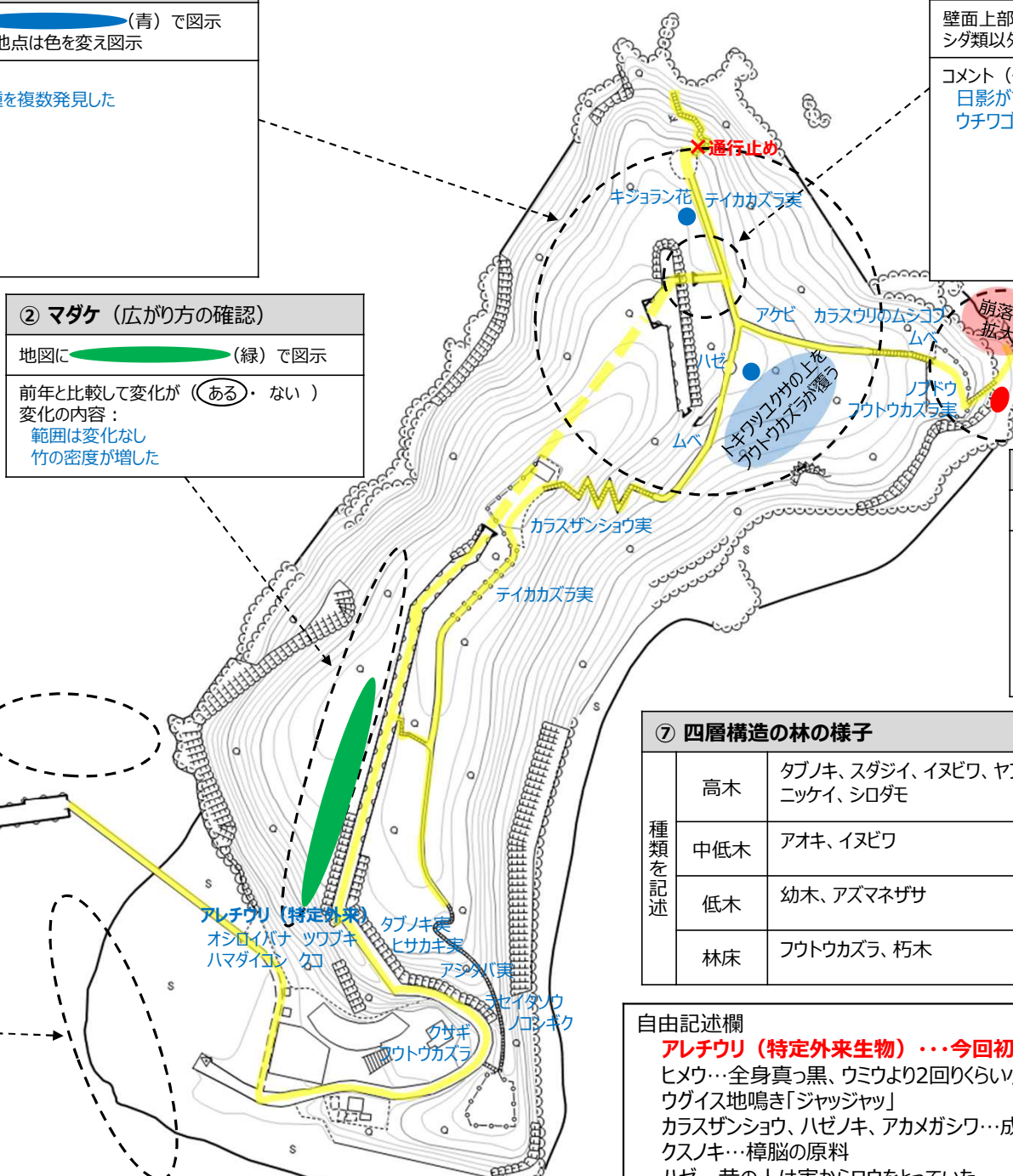
コメント（その他の鳥の種名・数など）：  
正面31羽、北側の岩壁18羽  
アオサギ1羽  
ヒメウ1羽

※ 鶺鴒はウミウ  
カワウは1年中いる

## ③ 壁面のシダの様子

壁面上部の倒木・伐木 (有 無)  
シダ類以外の植物 (増・減・変化なし)

コメント（その他植物名、日照状態など）：  
日影ができるようになった  
ウチワゴケ



## ⑤ イソギク

地図に  (赤) で図示

その他海岸植物：  
ツワブキ  
ウラシマソウ実  
センニンソウ  
ハマウド

## ⑥ 海岸打ち上げ物

人工物と自然物の割合 = 1 : 9  
海藻・海草： \_\_\_\_\_ 種類  
生物の遺骸： \_\_\_\_\_ 種類

打ち上げ物の種名と数：  
(+：若干、++：十数、+++：無数)  
ハマダンゴムシ  
マクサ

## ⑦ 四層構造の林の様子

種類を記述	高木	タブノキ、スダジイ、イヌビロ、ヤブニッケイ、シロダモ	生息する鳥類、昆虫類など：
	中低木	アオキ、イヌビロ	
	低木	幼木、アズマネザサ	
	林床	フウトウカズラ、朽木	

自由記述欄  
**アレチウリ（特定外来生物）…今回初確認。今後の広がりには注意が必要**  
 ヒメウ…全身真っ黒、ウミウより2回りくらい小さい  
 ウグイス地鳴き「ジャッジャッ」  
 カラスザンショウ、ハゼノキ、アカメガシワ…成長が早い  
 クスノキ…樟腦の原料  
 ハゼ…昔の人は実から口ウをとっていた